

## 〔海況概要〕

今週の本県近海の表面水温は、27～28.5℃台を示し、やや低い～かなり低い水温でした。

## 〔漁況概要〕

- 中小型まき網――月夜間とシケで出漁日数が少なかった。西彼地区では、マアジなどが1日1統当たり3トンの水揚げで、前週の38%（前年を下回った）。五島奈留地区では、ウルメイワシなどが1日1統当たり2トンの水揚げで、前週の67%（前年を下回った）。北松南部地区では、ウルメイワシなどが1日1統当たり9トンの水揚げで、前週並み（前年並み）。
- イカ釣――ケンサキイカは、対馬東岸地区では1日1統当たり56kgの水揚げで、前週の39%（前年並み）。壱岐勝本地区では1日当たり2.5トンの水揚げで、前週の39%（前年並み）。五島奈留地区では、1日1統当たり95kgの水揚げで、前週の1.3倍（前年を上回った）。
- 定置網――北松生月地区では、マサバなどが1日1統当たり1.3トンの水揚げ。対馬西岸地区では、アジなどが1日1統当たり359kgの水揚げ。対馬東岸地区では、ケンサキイカなどが1日1統当たり187kgの水揚げ。
- 一本釣――北松宇久地区では、ヒラマサが1日当たり36kgの水揚げで、前週の1.5倍（前年を上回った）。北松小値賀地区では、ヒラマサが1日1統当たり15kgの水揚げで、前週の約3.8倍（前年を上回った）。
- 延縄――北松小値賀地区では、アマダイなどが1日1統当たり38kgの水揚げで、前週の50%（前年並み）。
- トビウオ船曳――北松生月地区では、8月25日よりトビウオ漁が始まり、小トビ主体で1日1統当たり154kgの水揚げ（前年を下回った）。

## 〔日本海スルメイカ情報〕

今期（8/25～8/29）沖合イカ釣り船、船凍船は日本海（礼文島・武蔵堆周辺海区・奥尻島）へ出漁。

沿岸イカ釣り（氷蔵船）は、壱岐・対馬及び山口沖～浜田沖～隠岐海峡～鳥取沖～兵庫沖～能登半島～新潟沖～山形沖～秋田沖～青森沖～北海道西沖（武蔵堆周辺海区）に出漁。

境港基地の小型イカ釣り船 3日延20隻入港、総計1,193箱、1航海最高115箱、平均59.7箱、ケンサキ（2立～4立入）1,193箱。

（漁業情報サービスセンターより）